

添田 崑蟬坊 （号） 演歌師。明治五年十一月、千五百足柄縣大磯生れ、
昭和十九年二月八日歿（八七—一九四）。本名平吉。號おぼろ山人、の
むろ山人、不知山人、了閑、凡人、大龍居、大龍居主人、浮世二郎、
添田大龍、義徳活士、臥龍雇主人等。船員、士下を經て演歌師に。大
正七年青年親文會を興し、機關紙『演歌』（のち『民衆娛樂』と改題）
發刊。また増田龍雨と親しく句作に及ぶ。△演歌中興の祖と曰ふ。
添田知道はその長男。

著書『新流行歌』（合著、大正二年九月十日秀美堂書店）、『新はや
り歌全集』（編、大正十四年一月十日法文堂出版部）、『流行歌酌治
大正史』（昭和八年十一月）二十日春秋社）、『崑蟬坊流生記』（昭和
二十一年十一月）二十五日添田崑蟬坊顕彰會編輯）等。

